

総会議案書



奥の谷の水田に毎年作られるカヤネズミの巣

日時 平成 28 年 6 月 8 日

場所 富田林市中央公民館

富田林の自然を守る会

総会次第

1. 開会あいさつ

2. 代表あいさつ

3. 来賓あいさつ

4. 議事

第 1 号議案 2015 年度 活動報告

第 2 号議案 2015 年度 会計告

第 3 号議案 2015 年度 会計監査報告

質疑応答・承認

第 4 号議案 2016 年度 活動方針・活動計画案

第 5 号議案 2016 年度 予算案

質疑応答・意見交換・採決

第 6 号議案 2016 年度 役員選出

5. 閉会

富田林の自然を守る会

事務局 富田林市若松町 4 丁目 16-21 田渕武夫宅

TEL:0721-24-7960

e-mail:tabuchi@hb.tp1.jp

第1号議案 2015年度（平成27年度）事業報告

【I】自然環境を守る政策・行政との協働

（I）富田林の自然を守る市民運動協議会

「富田林の自然を守る市民運動協議会」の構成団体として、以下の事業に主体的にかかわった（協議会事業報告より）。

I. 2015年度の活動の概要

1. 自然環境保全活動

（1）里山保全活動

①雑木林の林床管理（下樵りを中心に）、②人工林（スギ・ヒノキ林）の管理（間伐・枝打ちなど）、③竹林管理（雑木林および人工林に侵入したタケの除伐、竹林としての管理）、④作業路（観察路）造り、⑤草地管理（放棄田とその畦、溜池の土手などの草刈）、⑥水生生物の保護と育成（水の生き物池の管理）。

（2）河岸段丘崖の竹林整備（中野町）

2. 文化的行事（自然とのふれあい、自然に親しむ、自然への理解を深める活動）

①米作り体験（田植え、稲刈り、稲こぎ）、②春の野草を食べる会、③竹炭焼き、④シイタケ栽培、⑤果樹栽培、⑥里山クラフト（蔓細工）、⑦どんどこもちつき。

3. 調査・提言活動

①自然観察会（植物、昆虫、野鳥、水生生物）、②自然環境保全活用調査、③モニタリング1000里地調査、④生物多様性保全に関する取り組み、⑤「富田林の自然」誌No.13の発行

4. 自然保護活動への支援・援助

II. 具体的な活動

1. 自然環境保全活動（生態系保全活動）

（1）里山保全活動

「里山ホリデー」、「里山保全作業と交流会」、「自然観察路の整備（嶽の会が主体）」と称して活動した（表1）。なお里山保全作業は「富田林

回	行事名	開催日時					参加人数			作業内容	備考
		年	月	日	曜	時	大人	子ども	計		
1	里山ホリデー	2015	4	19	日	10:00～15:00	17	0	17	・人工林の間伐	NICEが参加
2	里山ホリデー	2015	5	24	日	10:00～15:00	30	0	30	・溜池周辺の草刈	NICEが参加
3	里山ホリデー	2015	7	26	日	10:00～15:00	17	0	17	・人工林の間伐 ・皮むき	NICEが参加
4	里山ホリデー	2015	9	20	日	10:00～15:00	18	6	24	・人工林の間伐 ・皮むき	NICEが参加
5	里山ホリデー	2015	12	6	日	10:00～15:00	4	0	4	・コナラ(ナラ枯れ)の伐採 ・薪割	参加費には交野からの見学者16人を含む
6	里山作業と交流会	2015	12	13	日	10:00～15:00	29	1	30	・人工林の間伐 ・杭づくり	NICEが参加
7	観察路整備	2016	1	24	日	10:00～15:00	8	0	8	・観察路(作業路)の整備	嶽の会が主体で取り組む
8	里山ホリデー	2016	2	21	日	10:00～15:00	29	1	30	・コナラの伐採木の処理 ・杭の皮むき	NICEが参加
9	里山ホリデー	2016	3	13	日	10:00～15:00	16	1	17	・椎茸の植菌	参加費には香港ワークキャンプ参加者21人を含む
合計参加人数							168	9	177		

の自然を守る会」の主催で毎月第1金曜日にも実施した（表2）。また、自然を守る会が外部団体を受け入れあるいは共催して実施した〔例：国際ワークキャンプ、NICE 週末ワークキャンプ、NICE 香港グループワークキャンプ、自然環境市民大学（大阪自然環境保全協会）など〕。これらの活動はすべて奥の谷の里山で実施した（表3、表4、表5）。

（2）中野町の石川河岸段丘の竹林整備

2014年度に引き続き、竹の伐採、チップパーによる竹のチップ化、東側法面および西側平坦地の草刈り、南側広場のエノキなどの大径木の伐採を行った。なお、この事業は協議会主催の行事（表6）に加えて、自然を守る会主催（表7）でも実施した。また、2016年2月4日（木）には新堂小学校6年生のボランティア授業を受け入れた（表7）。

2. 文化的行事（自然とふれあい、自然に親しむ活動、自然への理解を深める活動）

（1）米作り体験

奥の谷の水田（約300m²）を借地し、米作りを実施。協議会の行事としては①田植え、②稲刈り、③稲こぎ（脱穀）を行った。水田の耕耘等田植えの準備、水の管理などは自然を守る会が行った（表8）。

表2. 富田林の自然を守る会が主催して行った里山保全活動

回	行事名	開催日時					参加人数			作業内容	備考
		年	月	日	曜	時	大人	子ども	計		
1	里山保全作業	2015	4	3	金	10:00～15:00	18	0	18		
2	里山保全作業	2015	5	1	金	10:00～15:00	26	0	26	・竹の伐採、タケノコ掘り ・畑作業 ・竹の薪づくり ・タケノコご飯	
3	里山保全作業	2015	6	5	金	10:00～13:00	14	0	14	・人工林間伐、皮むき ・畑作業	雨天中止
4	里山保全作業	2015	7	3	金	10:00～15:00	16	0	16	・畑作業（ジャガイモ収穫、堆肥づくり） ・雑木林の下刈り	
5	里山保全作業	2015	9	4	金	10:00～15:00	14	0	14	・人工林の間伐、皮むき ・畑作業（草引き）	
6	里山保全作業	2015	10	2	金	10:00～15:00	10	0	10	・畑作業（野菜の播種、寒冷紗用竹ひごの作成、堆肥づくり）	
7	里山保全作業	2015	11	6	金	10:00～15:00	17	0	17		
8	里山保全作業		12	4	金	10:00～15:00	17	0	17	・人工林間伐、杭づくり ・畑作業（エンドウの支柱づくり、堆肥づくり）	
9	里山保全作業	2016	1	8	金	10:00～15:00	17	0	17		
10	里山保全作業	2016	2	5	金	10:00～15:00	13	0	13	・竹林整備	
11	里山保全作業	2016	3	4	金	10:00～15:00	15	0	15		
合計参加人数							177	0	177		

(2) 竹炭焼き

市民大学修了生を中心に炭焼班が作られ、前年度新設された炭焼窯を用いて、炭焼班を中心に竹炭焼きを実施した。

(3) シイタケ栽培

コナラの大径木3本を伐採（今年度初めてコナラ2本にナラ枯れが発生した）その枝の部分を用いて椎茸の植菌を行った（植菌作業は3月13日の「里山ホリデー」で実施）。栽培した椎茸は様々の行事での食事に利用した。

(4) 果樹栽培

ミカン小屋の前の果樹の丘や西尾氏のミカン園で草刈りを中心に管理している。主として自然を守る会が草刈日を設けて実施した。果樹の丘にはカキ、スモモ、クリ、イチジク、クワ、グミ、オリーブ、ビワなどを植栽している。果樹の丘は里山の草地性植物の復活を目指して草原としての管理が目的の一つとなっている。

表3 NICE(日本国際ワークキャンプセンター)との共同

回	行事名	開催日時				参加人数			作業内容
		年	月	日	曜	NICE	地元	計	
1	週末ワークキャンプ	2015	4	18～19	土～日	18	7	25	・里山散策(18日) ・タケノコ掘り(18日) ・炭焼き小屋追加工事(18日) ・人工林の間伐(18日) ・19日は里山ホリデーに参加
2	週末ワークキャンプ	2015	5	23～24	土～日	13	5	18	・果樹の丘の草刈 ・24日は里山ホリデーに参加
3	週末ワークキャンプ	2015	6	6～7	土～日	29	5	34	・人工林の間伐 ・皮むき
4	週末ワークキャンプ	2015	7	25～26	土～日	15	3	18	・里山散策(25日) ・26日は里山ホリデーに参加
5	国際ワークキャンプ	2015	8	14～28	金～金	8	25	33	・コナラ(ナラ枯れ)の伐採 ・薪割り
6	週末ワークキャンプ	2015	9	19～20	土～日	23	5	28	・草刈り ・20日は里山ホリデーに参加
7	週末ワークキャンプ	2015	10	17～18	土～日	22	5	27	・観察路(作業路)の整備
8	香港グループワークキャンプ	2015	11	6～9	金～月	20	5	25	・コナラの伐採木の処理 ・杭の皮むき (香港人10人)
9	週末ワークキャンプ	2015	12	12～13	土～日	22	5	27	
10	週末ワークキャンプ	2016	1	9～10	土～日	20	14	34	・人工林間伐・杭づくり(9日) ・10日はどんどこもちつきに参加
11	週末ワークキャンプ	2016	2	20～21	土～日	19	5	24	
12	香港グループワークキャンプ	2016	3	11～14	金～月	21	5	26	・コナラの伐採木処理、薪割り (12日) ・人工林間伐、皮むき(13日) (香港人は10人)
合計参加人数						230	89	319	

(5) 春の野草を食べる会

奥の谷の野草を積んで調理して食べた。メニューはヨモギ団、メナご飯、野草のおひたし（セリ、ヨメナ、ツリガネニンジンなど）、ノビルのぬた、タケノコの木の子の芽和え、各種野草の天ぷらなどであった。この行事は毎年大変好評で、老若男女 81 人が参加。にぎやかで楽しい催しであった(表 6)。

(6) 里山クラフト（蔓細工を中心に）

午前中は山に入りフジ、アケビ、アオツヅラフジなどの蔓を採取し、午後はそれを用いて籠やリース作りを行った。子どもたちは風車や竹ぼっくりなどを作った(表 6)。

(7) どんとともちつき

最初に書初めを行い、続いてどんと焼きを行った。そのあともちつきを行った。きな粉もち、あんこ餅、雑煮などを作り、みんなで楽しく食べた(表 6)。

表4 自然を守る会が他団体からの依頼を受け入れて実施した事業

回	行事名	開催日時					参加人数			作業内容	備考
		年	月	日	曜	時	大人	子ども	計		
1	くすのき塾	2015	4	4	土	10:00～15:00	30	0	30	自然観察	
2	まち中公園自然観察隊	2015	4	18	土	10:00～15:00	15	0	15	・里山見学 ・竹の伐採	
3	市民大学OB(12期生)	2015	4	24	金	10:00～15:00	22	0	22	・竹の伐採、タケノコ掘り ・タケノコ料理	
4	年金者組合	2015	5	4	月	10:00～15:00	—	—	—	野草を食べる会	雨天中止
5	なかよしすみれ保育園	2015	5	12	火	10:00～15:00	—	—	—	遠足	雨天中止
6	インストラクター養成講座	2015	5	16	土	10:00～15:00	20	0	20		
7	市民大学OB(11期生)	2015	5	19	火	10:00～15:00	9	0	9	・「風と光の林」の整備 ・バーベキュー	
8	市民大学OB(12期生)	2015	5	23	土	10:00～15:00	5	0	5	・炭焼グループを結成	
9	東桃谷幼児の園遠足	2015	6	3	水	10:00～15:00	—	—	—	遠足	雨天中止
10	いずみ市民生協	2015	8	2	日	10:00～15:00	20	22	42	米作り体験(田の草取り)	
11	大谷大学有志	2015	9	9	水	10:00～15:00	—	—	—	竹の伐採と流しそーめん	雨天中止
12	歩こう会	2015	9	23	水	10:00～15:00	10	0	10	人工林間伐、バーベキュー	
13	さとり協議会	2015	10	5	月	10:00～15:00	4	0	4	奥の谷視察	
14	シニア自然カレッジ10期生講座(竹)	2015	11	4	水	10:00～15:00	24	0	24	・午前:講義 ・午後:竹の伐採	
15	市民大学OB(八葉の会)	2015	11	12	木	10:00～15:00	5	0	5		
16	大阪経済大学	2015	11	21	土	10:00～15:00	15	0	15	講座	
17	市民大学OB(11期生)	2015	11	27	金	10:00～15:00	5	0	5		
18	交野みどりネット	2015	12	6	日	10:00～15:00	16	0	16	奥の谷見学	
19	シニア自然カレッジ10期生講座(七草)	2016	1	6	水	10:00～15:00	20	0	20	講座(七草粥)	
20	大谷大学有志	2016	2	1	月	10:00～15:00	15	0	15	竹の伐採	
21	大阪アクティブシニア協会	2016	2	17	水	10:00～15:00	15	0	15	入門講座	
22	市民大学OB(八葉の会)	2016	3	23	水	10:00～15:00	6	0	6	「むしむしランド」のメンテなど	
合計参加人数							256	22	278		

3. 自然観察・調査研究・提言活動など

(1) 自然観察（植物、昆虫、野鳥）（表 10）

①植物観察会

奥の谷の観察路を歩いて、開花または結実している草本類、木本類のを中心に観察した。

②昆虫ウォッチング

午後3時に集合し、昼間はトンボやチョウを捕りながら山野を歩き、ベイトトラップ(バナナ)を樹木などに仕掛けた。その後嶽山の昆虫標本（自然を守る会所蔵）を観察した。夕食後山裾に設置したライトトラップを点灯した。日没後、樹液に來ている昆虫やバナナトラップに來ている昆虫を観察しながら真っ暗な山中を懐中電灯を頼りに歩いた。

③野鳥観察会

上村賢氏（日本野鳥の会）に講師を依頼し錦織公園で実施する予定であったが雨のため中止した。

④水の生き物観察会

水の生き物池において、子どもたちを中心に水の生き物捕りを実施した。

(2) 自然環境保全活用調査 その14

富田林市がNPO 法人里山倶楽部に委託した調査に、協議会が協力して調査に参加した。次のような内容の報告書が作成された。

「富田林の緑」の概要：①平成20～26年度調査のまとめ、②補足現地調査

「生物多様性保全」について：①現地調査結果のまとめ、②生物多様性保全の取組み提案

表5 自然環境市民大学(大阪自然環境保全協会)

	開講日		内 容	備 考
1	2015年11月25日	(水)	講義 地域の保全活動 奥の谷の里山見学(実習地)	講師:田淵武夫氏
2	2015年12月12日	(土)	講義:土壌調査法 実習:土壌調査	
3	2016年1月13日	(水)	奥の谷の里山見学(実習地) 企画会議 各班(3班)ごとに実習テーマを選定 作業開始	1班:展望台整備 2班:水の生き物池の水路整備 3班:水の生き物池を復活させよう
4	2016年1月27日	(水)	各班で作業	
5	2016年2月3日	(水)		
6	2016年2月10日	(水)		
7	2016年2月24日	(水)	発表<1,2班>	
8	2016年3月2日	(水)	発表<3班> まとめ	

参考資料：●金剛団地の変遷、●住宅地開発による里山環境の消失の事例、●金胎寺山現地調査、●生物多様性広報パネル

(3) モニタリング 1000 里地調査(自然を守る会)

自然を守る会は、環境省のモニタリング 1000 里地調査（日本自然保護協会委託）のうち植物およびチョウ（昆虫）について奥の谷で実施した。

(4) 生物多様性保全に関する取り組み

富田林市緑の基本計画の改定に向けての議論の中で、富田林における生物多様性の保全の必要性について昨年度に引き続き議論を重ねた。

(5) 冊子「富田林の自然」No. 14 の発行

発行準備中

表6 協議会が主催して行った中野町竹林整備

回	開催日時					参加人数			作業内容
	年	月	日	曜	時	大人	子ども	計	
1	2015	4	11	土	9:00～12:00	13	3	16	・タケノコ堀り
2	2015	5	31	日	9:00～12:00	9	0	9	・タケノコ堀り ・幼竹除去 ・チップパー作業、チップ搬出 ・草刈り
3	2015	6	21	日	9:00～12:00	9	0	9	
4	2015	7	4	土	9:00～12:00	6	0	6	・草刈り ・チップパー作業、チップ搬出
5	2015	9	27	日	9:00～12:00	8	0	8	・竹の伐採 ・チップパー作業
6	2015	10	25	日	9:00～12:00		0	0	
7	2015	11	15	日	9:00～12:00	7	0	7	・今後の方針の検討
8	2015	12	5	土	9:00～12:00	5	0	5	・大径木周囲の囲い柵の設置 ・シュロなどの不要小低木の除去
9	2016	1	17	日	9:00～12:00	5	0	5	
12	2016	2	13	土	9:30～12:00	4	0	4	
11	2016	3	20	日	9:30～12:00	5	0	5	
参加者数合計						71	3	74	

4. 自然保護活動への支援・援助

(1) 国際ワークキャンプ

「国際ワークキャンプ大阪太子・富田林 2015」が富田林の自然を守る会、NICE（日本国際ワークキャンプセンター）の共催、太子町葉室里山クラブ（大阪自然環境保全協会）の協力で8月14日（金）～28日（金）の間、奥の谷を中心に実施された〔22日（土）午後～24日（月）午前は太子町葉室里山クラブが担当〕。

富田林では①人工林の間伐、②雑木林の下樵り、③竹林の間伐を実施した。8月15日（土）に歓迎会が行われ、富田林市から産業環境部長、みどり環境課長、みどり公園係長および担当職員が来賓として参加、市長からのメッセージが紹介された。キャンパーは外国人6人〔スペイン、台湾（2人）、香港、フランス（2人）〕、日本人7人が参加、奥の谷のミカン小屋に宿泊した。ワーク以外にはスライドショー（奥の谷の四季）、ディスカッション（各国の環境問題）、クラフトづくり（竹細工など）、じないまち見学、ホームステイを行った。スタッフを含め地元などから延べ156人（富田林：105人、太子：51人）が参加した。

国際ワークキャンプには協議会から130,399円の財政支援を行った。

表7 自然を守る会が主催して行った中野町竹林整備

回	開催日時					参加人数			作業内容
	年	月	日	曜	時	大人	子ども	計	
1	2015	4	20	月	10:00～12:00	—	—	—	雨天中止
2	2015	5	11	月	10:00～12:00	6	0	6	・東側法面の竹・樹木の伐採
3	2015	6	29	月	10:00～12:00	4	0	4	・若竹の伐採
4	2015	7	13	月	10:00～12:00	3	0	3	・草刈り ・樹木伐採
5	2015	8	3	月	10:00～12:00	3	0	3	・竹の伐採 ・物置設置予定地の整地
6	2015	9	2	水	1:00～11:00	1	0	1	・物置を設置
7	2015	9	7	月	10:00～12:00	5	0	5	
8	2015	10	5	月	10:00～12:00	4	0	4	
9	2015	10	19	月	10:00～12:00	5	0	5	
10	2015	11	9	月	10:00～12:00	5	0	5	
11	2015	12	14	月	10:00～12:00	5	0	5	・交番裏のエノキなどの大径木の枝を伐採
12	2016	2	4	木	9:30～15:00	4	12	16	・新堂小学校ボランティア授業受け入れ
13	2016	2	28	日	9:30～15:00	5	0	5	
14	2016	3	5	土	9:30～15:00	5	0	5	
参加者数合計						55	12	67	

表8 米づくり体験

回	行事名	開催日			参加人数				内容	備考
		年	月	日	曜	大人	子ども	計		
1	田植え	2015	6	13	土	23	15	38	手植え	
2	稲刈り	2015	10	17	土	21	10	31	ノコギリ鎌、はぜかけ	
3	稲こぎ	2015	11	7	土	45	3	48	足踏み脱穀機、篩、唐箕	NICEが参加(19人)
参加者数合計						89	28	117		

表9 文化行事

回	行事名	開催日				参加人数			内容	備考
		年	月	日	曜	大人	子ども	計		
1	春の野草を食べる会	2015	4	29	水	63	18	81	ヨモギ団子、ヨメナご飯、タケノコご飯、セリのおひたし、各種てんぷらなど	
2	里山クラブ	2015	11	23	月	10	3	13	蔓植物の採取、つる細工、子供向けに風車、竹ぼっくり	講師:佐々木氏
3	どんどもちつき	2016	1	10	日	54	17	71	書き初め、どんどこ焼、もちつき	NICEが参加16人
参加者数合計						127	38	165		

(2) 参加団体への支援

協議会主催事業のほか富田林の自然を守る会をはじめ協議会参加団体に支援・援助を行った。

(Ⅱ) 石川自然ゾーン計画・運営協議会

「富田林の自然を守る会（守る会）」は協議会が設置された 2005 年度より 1 名の委員を送り、石川の自然環境保全の議論に参加している。2015 年度の協議会は開催されなかった。

(Ⅲ) 調査・研究・政策づくりと行政への要望など

I. 自然環境保全活用調査

富田林市が「里山倶楽部」に委託して実施した「自然環境保全活用調査」に協力した（【I】－（I）－Ⅱ-3-（2）参照）。

Ⅱ. 錦織公園自然調査

「都市公園自然調査研究会（公益社団法人大阪自然環境保全協会：保全協会）」が錦織公園で実施した調査に協力した。

Ⅲ. モニタリング 1000 里地調査

「日本自然保護協会」が環境省からの委託事業として実施している「モニタリング 1000 里地調査（モニ 1000 里地調査）」に登録して、「保全協会」の協力を得て、植物およびチョウ（昆虫）の調査を奥の谷で継続実施した。

Ⅳ. 里山指標生物調査

「保全協会」が実施している「里山指標生物調査」を奥の谷と錦織公園で実施した（奥の谷では「モニ 1000 里地調査」、錦織公園では「都市公園自然調査研究会」の調査と併せて実施した。

Ⅴ. 市への要望

「要求とまちづくり富田林実行委員会」に加入し、この委員会が市に提出した要望書の自然環境にかかわる項目（「農業と自然・住環境を守り歴史と自然文化息づくまち富田林をの項」）の要望をまとめた。またこの要望書に基づく市議会議長あて要望書名にも取り組んだ。

表10 自然観察会											
回	行事名	開催日時					参加人数			観察した生き物	備考
		年	月	日	曜	時	大人	子ども	計		
1	植物観察会	2015	4	5	日	9:00～13:00	—	—	—	—	雨天中止
2	植物観察会	2015	5	25	土	9:00～13:00	—	—	—	—	雨天中止
3	水の生き物観察会	2015	5	30	土	9:00～13:00	15	4	19	アメリカザリガニ、ヤゴsp、オタマジャクシ（アカガエル？）、モナラガイ、ガムシsp、ヌマガエル、トノサマガエル、カラスガイ、マツモムシ	
4	植物観察会	2015	6	6	土	9:00～13:00	20	0	20	草本類：カサスゲ、ササユリ、ギンリョウソウ、セリなど24種 木本類：ネジキ、ウツギ、ネズミモチ、ヤブムラサキなど7種	NICEが参加(16人)
5	昆虫ウォッチング	2015	7	18	土	15:00～20:00	28	20	48	別表	ネッチング、サーティン グ、バナナトラップ、ラ イトラップ
6	植物観察会	2015	9	6	日	9:00～13:00	—	—	—	—	雨天中止
7	植物観察会	2015	10	4	日	9:00～13:00	8	2	10	草本類：ケシロヨメナ、コガマ、コナギ、サワヒヨドリ、ツリガネニンジン、ツリフネソウ、ノダケヤマジノホトギス、ワレモコウなど71種(開花、結実) 木本類：フユイチゴ、ムクノキ、マルバハギなど8種(開花、結実)	
8	野鳥観察会	2016	2	14	日	9:00～13:00	—	—	—	—	雨天中止
参加者数合計							71	26	97		

別表(表10) 昆虫観察会(2015年7月8日)で観察された昆虫種					
ネットティング・サーチング(昼間)=11種			バナナトラップ・サーチング(夜間)=14種		
種	科	目			
1 ハラビロカマキリ(幼)	カマキリ	カマキリ	・15:30頃から17:00頃までネットティン	1 カゲロウsp	カゲロウ
2 ビロウドサシガメ(幼)	サシガメ	カメムシ	グおよびサーチン	2 ノコギリクワガタ	クワガタムシ
3 ツマグロヨコバイ	ヨコバイ	カメムシ	グで採集または観	3 ヨツボシケンキスイ	ケンキスイ
4 カブトムシ	コガネムシ	コウチュウ	察。	4 カブトムシ	コガネムシ
5 キマワリ	ゴミムシダマシ	コウチュウ	・ミカン小屋-今池-中池-奥の谷・南原の合流点-尾根道-ミカン小屋のルート。	5 オオクチキムシ	ゴミムシダマシ
6 スジグロシロチョウ	シロチョウ	チョウ	・途中バナナトラップをつるす。	6 オオナガコメツキ	コメツキムシ
7 サトキマダラヒカゲ	タテハチョウ	チョウ		7 ヘイケボタル	ボタル
8 アオハダトンボ	カワトンボ	トンボ		8 モリチャバネゴキブリ	チャバネゴキブリ
9 オオシオカラトンボ	トンボ	トンボ		9 シロスジアオトウ	ヤガ
10 ツイチナゴ(幼)	イナゴ	バッタ		10 アシブトクチャバ	ヤガ
11 ショウリョウバッタ	バッタ	バッタ		11 オオトモエ	ヤガ
				12 スギタニモンキリガ	ヤガ
				13 マダラカマドウマ	カマドウマ
				14 コガsp	バッタ
ライトトラップ=22種			全体:9目、28科、46種(同定は山口龍治氏)		
1 ハマベアワフキ	アワフキムシ	カメムシ			
2 ノコギリカミキリ	カミキリムシ	コウチュウ			
3 ガムシ	ガムシ	コウチュウ			
4 オオコフキコガネ	コガネムシ	コウチュウ			
5 アオドウガネ	コガネムシ	コウチュウ			
6 ヒメコガネ	コガネムシ	コウチュウ			
7 クロコガネ	コガネムシ	コウチュウ			
8 ドウガネブイブイ	コガネムシ	コウチュウ			
9 ミズスマシ	ミズスマシ	コウチュウ			
10 アオイラガ	イラガ	チョウ	・ライトトラップを果樹の丘の北側の谷に設置。		
11 オオカギバ	カギバ	チョウ	・19:00頃に点灯。		
12 ヨモギエダシヤク	シヤクガ	チョウ	・20:30頃から19:30頃まで観察		
13 アオシヤクsp	シヤクガ	チョウ			
14 チズモンアオシヤク	シヤクガ	チョウ			
15 オオエグリシヤチホコ	シヤチホコガ	チョウ			
16 キシタバ	ヤガ	チョウ			
17 カラスヨトウ	ヤガ	チョウ			
18 マイコトラガ	ヤガ	チョウ			
19 コガタシマトビケラ	シマトビケラ	トビケラ			
20 ケラ	ケラ	バッタ			
21 シバズ	ヒバリモドキ	バッタ			
22 アシグロケシムシ(幼)					

【Ⅱ】NICE（日本国際ワークキャンプセンター）との共催事業

（Ⅰ）国際ワークキャンプ

「国際ワークキャンプ大阪太子・富田林 2015」を NICE と共催、太子町葉室里山クラブ（公益社団法人大阪自然環境保全協会=保全協会）の協力で 8 月 14 日（金）～28 日（金）の間、奥の谷と太子町で実施した。奥の谷では 8 月 14 日～22 日、8 月 24 日～28 日にスギヒ・ノキ林の間伐、竹林整備、雑木林の下樵りなどを実施した。8 月 15 日に行った歓迎会には富田林市から産業環境部長、みどり環境課長、みどり公園係長、担当職員が来賓として参加、市長からのメッセージが紹介された。外国人 6 人（スペイン 1 人、台湾 2 人、香港 1 人、フランス 2 人）と日本人 7 人がキャンパーとして参加した。地元参加者は延べ 156 人（富田林：105 人、太子：51 人）であった。キャンパーたちは奥の谷のミカン小屋および太子町山田の山小屋に宿泊した。ワーク以外にはスライドショー（奥の谷の四季）ディスカッション（各国の環境問題）、クラフトづくり、じないまち見学を行った。

（Ⅱ）NICE 週末ワークキャンプ（プレキャンプを含む）

原則として毎月 1 回土、日の一泊キャンプを奥の谷のミカン小屋に宿泊してで実施した（表 3 参照）。

（Ⅲ）グループワークキャンプ

香港の青年のグループワークキャンプを 2015 年 11 月 6 日～9 日および 2016 年 3

月 11 日～14 日の 2 回受け入れた。人工林の間伐、竹林整備などを行った(表 3 参照)。

(Ⅳ)「にこワーク（国際ワークキャンプなどの西日本の受け入れ団体の集まり）」

12 月 12-13 日に富田林の門前屋で開催され参加した。

【Ⅲ】各種講座の受け入れ

(Ⅰ) 自然環境市民大学（保全協会）

「保全協会」の「自然環境市民大学（市民大学）」13 期生の講座の一部（地域の保全活動・企画運営）を奥の谷をフィールドとして受け入れた（表 5 参照）。実習では①展望台の造成、②「水の生き物池」の水路整備、③「水の生き物池」全体の整備が行われた。講師は佐藤治雄氏、伊藤孝美氏（土壌調査）、田淵武夫が担当した。

(Ⅱ) その他の講座

- ①自然観察講座（NPO 法人高齢者大学シニア富田林くすのき塾）。
- ②自然観察インストラクター養成講座（インスト講座；里山を歩こう；保全協会）。
- ③NPO 法人大阪シニア自然カレッジ 10 期生講座（里山の竹の間伐体験、春の七草摘みとお粥作り）。
- ④大阪経済大学講座（国際協力とボランティア）。
- ⑤アクティブシニアあふれる大阪事業入門講座（大阪府高齢介護室；NPO 法人大阪アクティブシニア協会）の 5 つの講座を受け入れた（表 4 参照）。

【Ⅳ】外部団体の行事などの受け入れ

保育所の遠足など各種団体から計 16 回の行事などを受け入れた（表 4 参照）。

【Ⅴ】外部の催し、外部団体などへの参加

- ①「ひろとん」（富田林公益活動支援センター主催）に展示参加。
- ②かたの未来づくり講座（交野市みどりネット主催；保全協会受諾事業）に講師派遣。
- ③南河内流域子どもまつり（南河内ほわ～と流域ネット主催）に展示参加。
- ④「チャリティーネット森が好き」に登録。
- ⑤要求とまちづくり富田林実行委員会に参加。
- ⑥保全協会の提携団体に登録。

【Ⅵ】地域との共同

(Ⅰ) 溜池の土手・水路脇の草刈りなど

水利組合、初芝富田林校、NICE、守る会の協働で奥の谷の 3 つの池（中池、今池、キツネ谷池）および用水路周辺の草刈りを 5 月 24 日（日）に行った。

【Ⅶ】助成金事業

（Ⅰ）森林・山村多面的機能発揮対策交付金（さとり；林野庁）

富田林里山の会（2013年9月1日設立）が738,000円（2015年度）の助成を受け実施して。人工林の間伐、雑木林の下樵り、侵入竹の除伐・竹林管理、自然観察、クラフトづくりなどの事業を実施した。この事業で薪割り機を購入した（詳細は富田林里山の会の報告書を参照）。

【Ⅷ】会独自の取り組み

（Ⅰ）里山保全作業

毎月第一金曜日に実施した。大阪シニア自然カレッジの里山グループから毎回多数の参加があった。

（Ⅱ）果樹園などの草刈り管理

南原、果樹の丘、ミカン園などの草刈りを実施した。

（Ⅲ）金剛コロニーくすのき寮の梅園の草刈り

6月7日（日）にNICE週末ワークキャンプに合わせて実施した。

（Ⅳ）自主的作業

①休耕田の草刈り（適宜実施）。

②大径木の伐採。

ナラ枯れしたコナラおよびその周辺のコナラの大径木を伐採した。

③その他

炭焼き小屋の補強、水田管理、みかん小屋の管理、常設テントの設置など正規の行事開催日以外にも必要に応じて関係者が作業した。

【Ⅸ】施設・設備の整備

①奥の谷の拠点広場に常設テントを設置。

②中野町竹林に物置小屋を購入し設置。

【Ⅹ】2015年度の活動で特徴的だったこと

（Ⅰ）新規

①奥の谷の拠点広場に常設テントを設置。

②中野町竹林に物置小屋を購入し設置。

③薪割り機を購入（さとり事業）

④炭焼班の結成（市民大学修了生が中心）

⑤南原自然農グループ（ナンバルガンバル）を結成（インスト講座修了生が中心）

⑥水の生き物池を整備（市民大学）

- ⑦遊歩道計画コースに展望地を造成(市民大学)
- ⑧コナラ2本にナラ枯れ発生
- ⑨奥の谷での新種の発見(センダングサ、ジャクジョウソウ、サラサヤンマ、タカネトンボ)

(Ⅱ) 継続

- ①NICE との共催事業(国際ワークキャンプ、週末ワークキャンプ、グループワークキャンプなど)
- ②モニ 1000 里地調査(植物、チョウ)
- ③「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業(さとり事業; 富田林里山の会)
- ④保全協会との共同事業(市民大学、インスト講座)
- ⑤大阪シニア自然カレッジとの共同事業(講座、里山グループ)
- ⑥アクティブシニアあふれる大阪事業入門講座
- ⑦大阪経済大学ボランティア講座
- ⑧地域との協働事業(溜池の土手などの草刈り)
- ⑨金剛コロニーくすのき寮の梅園の草刈り
- ⑩多くの外部団体の行事受入れ(16回)
- ⑪2016年6月現在の会員数 個人会員 131 人、団体会員 3 団体

(Ⅲ) 行事等参加者数

I. 奥の谷

奥の谷における種々の行事などの延べ総参加者数は 1,754 人であった(表 11)。

II. 中野町竹林

中野町竹林整備事業における延べ参加者数は 141 人であった(表 12)。

行 事 名	大人	子ども	合計
里山保全活動(協議会)	168	9	177
里山保全活動(守る会)	177	0	177
国際ワークキャンプ(NICE)	287	10	297
グループワークキャンプ(NICE)	51	0	51
週末ワークキャンプなど(NICE)	235	0	235
自然環境市民大学(保全協会)	160	0	160
米作り体験(協議会)	89	28	117
文化行事(協議会)	127	38	165
自然観察会(協議会)	71	26	97
他団体受け入れ行事など	256	22	278
合 計	1,621	133	1,754

	大人	子ども	合計
協議会主催(11回)	71	3	74
守る会主催(16回)	55	12	67
合 計	126	15	141

【XI】会議

（Ⅰ）総会

2015 年 6 月 10 日（水） 富田林市中央公民館 19:00～21:00。
（総会終了後 懇親会）

（Ⅱ）世話人会

原則として毎月第 1 火曜日 19:00～21:00 中野町の会事務所

【XII】関連資料

- ①富田林の自然, No. 14, 富田林の自然を守る市民運動協議会, 2016（発行準備中）.
- ②自然環境保全活用調査報告書, その 13, 富田林市, 2016.
- ③2015 年度富田林の自然を守る市民運動協議会総会議案書, 2016.
- ④2016 年度予算要望書（子どももお年寄りも障害をもつ人もみんな大切にされる
こころ温まる自然と歴史と文化息づくまちを求める要望書）について（回答）, 富田林
市長, 2016. 3.

第2号議案 2015年度 会計決算報告

1. 一般会計

収入の部

項 目	予算額(a)	決算額(b)	増減(a-b)	備 考
繰越金	25,418	25,418	0	
会費	90,000	89,000	1,000	
行事参加費	3,000	0	3,000	協議会の行事を除く行事
雑収入	35,000	32,902	2,098	利子、カンパを含む
自然保護特別会計より	0	0	0	
合 計	153,418	147,320	6,098	

支出の部

項 目	予算額(a)	決算額(b)	増減(a-b)	備 考
行事費	10,000	16,757	-6,757	食材等
通信郵送費	20,000	9,266	10,734	「たより」等郵送費
消耗品費	10,000	6,190	3,810	
ワークキャンプ費	50,000	60,000	-10,000	国際ワークキャンプ特別会計へ
協賛金及び寄付	1,000	0	1,000	
予備費	62,418	20,000	42,418	
合 計	153,418	112,213	41,205	

次年度への繰り越し = 147,320 - 112,213 = 35,107円（収入合計-支出合計）

2. 自然保護特別会計

収入の部

項 目	金 額	備 考
繰越金	680,013	
大阪自然環境保全協会 自然環境市民大学謝礼金 各種 行事受入 講演等謝礼金	229,800	
アクティブシニアから(27,756)、富田林里山の会会員からの 寄付(738,000) チャリ森(10,453)	776,209	2015年度合計 1,006,009
合 計	1,686,022	

支出の部

項 目	金 額	備 考
一般会計へ	0	
富田林の自然を守る市民運動協議会へ	385,921	
国際ワークキャンプ特別会計へ	86,466	
富田林里山の会へ	200,000	
奥の谷常設テント設置費	112,067	テント地、単管他
合 計	784,454	

◇次年度繰越 1,686,022 - 784,454 = 901,568円

3.国際ワークキャンプ特別会計

収入の部

項 目	予算	前年度決算額	決算額	備 考
富田林の自然を守る市民運動協議会より	100,000	112,149	130,099	
富田林の自然を守る会一般会計から繰り入れ	60,000	67,224	146,466	
一般参加費	30,000	26,300	22,800	
その他(寄付金等)	20,000	15,977	1,191	
合 計	210,000	221,650	300,556	

支出の部

項 目	予算	前年度決算額	決算額	備考
通信・印刷費	33,000	36,000	39,432	NICE(3,000×12人)
運営費	44,000	52,000	63,000	
燃料費	16,000	11,745	21,834	発電機用ガソリン
設備費	25,000	0	26,143	テント設置など
消耗品費	20,000	21,004	36,990	虫よけスプレーなど
入浴費	35,000	35,000	42,800	キャンパーの入浴代
保険費	6,000	8,400	6,000	ボランティア保険
歓迎会費	21,000	22,453	28,234	食材など
参加者食費	10,000	16,800	36,123	地元参加者の食費
予備費	0	18,248	0	最終日食費他
合 計	210,000	221,650	300,556	

第 3 号議案 2015 年度会計監査報告

富田林の自然を守る会 2015 年度一般会計、国際ワークキャンプ特別会計及び自然保護特別会計について歳入歳出決算書、証拠書類及び帳簿を審査したところ、収支とも適正であることを認めます。

2016 年 6 月 7 日

富田林の自然を守る会会計監査
市 川 悦 久



第4号議案 2016年度 活動計画

I. 活動の方針

自然生態系の保全・生物多様性の保全を目標に富田林市内全域の自然環境保全を視野に活動する。下に示すように「自然生態系・生物多様性保全に係る直接的な活動」、「自然に関わる文化的活動(自然とふれあう活動)」、「調査・提言活動」の3つの活動を統一적으로とらえて活動する。また、自然豊かなまちづくりをめざし、行政や多くの市民や市民団体とも協力し、協働して活動する。

1. 自然環境保全活動(生態系保全・生物多様性保全)

(1) 里山保全活動

- ①雑木林の林床管理(下樵りを中心に)
- ②人工林(スギ・ヒノキ林)の管理(間伐、枝打ち)、
- ③竹林管理(雑木林および人工林へ侵入したタケの除伐、竹林の管理)
- ④作業路(観察路)づくり
- ⑤草地管理(休耕田とその畦、ため池の土手などの草刈り)
- ⑥水生生物の保護と育成(水の生きもの池の管理)

(2) 河岸段丘崖の竹林整備(中野町)

2. 文化的活動(自然とふれあう活動)

- ①竹炭焼き ②シイタケ栽培 ③果樹栽培 ④野草を食べる会
- ⑤里山クラフト ⑥どんどこもちつき ⑦米づくり体験(田植え、稲刈り、稲こぎ)

3. 自然観察・調査・提言活動

- ①自然観察(植物・昆虫・野鳥、水生生物)
- ②自然環境保全活用調査(富田林市の調査に協力)
- ③「富田林の自然」誌の発行(富田林の自然を守る市民運動協議会の協力)
- ④生物多様性保全に関する取り組み

II. 自然環境を守る政策・行政との協働

〔1〕富田林の自然を守る市民運動協議会

昨年にひきつづき、協議会の事業に積極的に取り組む。具体的には次の事業などが計画されている(富田林の自然を守る市民運動協議会 2016年度活動計画より)。

1. 自然環境保全活動

(1) 里山保全活動

「里山ホリデー」と称して里山保全の作業を下記の日程で行う。作業の内容は、雑木林の下樵り、竹林整備と竹林の拡大防止、人工林の管理(間伐、枝打ち、伐倒木の皮むきなど)、休耕田・溜池の土手などの草刈り、果樹の手入れ、自然観察路(作業路)造成・整備などとする。場所は奥の谷および南原とその周辺で、時間は原則として毎回10:00～15:00頃とする。

日程:2016年4月24日(日)、5月22日(日)、7月24日(日)、9月18日(日)、2017年2月12日(日)、3月12日(日)。

(2) 里山作業と交流会

午前は里山保全作業を行い、午後は交流会とする。

日時:12月11日(日) 10:00～15:00頃。

場所:奥の谷

(3) 中野町竹林管理

中野町の河岸段丘および段丘崖の竹林を整備し、生物多様性を向上させるとともに地域の憩いの場所として活用することを目指す。下記の日程で作業を行う。時間は原則として毎回9:30～12:00とする。

日程：2016年4月17日（日）タケノコ掘り、5月28日（土）ベンチづくり、6月19日（日）マダケのタケノコ切り、草刈り、7月2日（土）マダケのタケノコ切り、草刈り、8月7日（日）水鉄砲と流しそうめん、9月25日（日）竹林整備、草刈り、10月23日（日）竹林で遊ぼう、11月13日（日）竹林整備（遊歩道整備）、12月4日（日）竹林整備（遊歩道整備）、2017年1月8日（日）竹林整備、新年会、2月4日（土）竹林整備、3月26日（日）竹林整備。

2. 文化的行事

(1) 米作り体験

借地している奥の谷の水田で有機栽培による米作りを行う。収穫した米は原則として各種行事に使用する。

①田植え

日時：6月11日（土）10:00～15:00 頃（予備日：12日）。

②稲刈り

日時：10月15日（土）10:00～15:00 頃（予備日16日）。

③稲こぎ

日時：11月5日（土）10:00～15:00 頃（予備日6日）。

(2) 春の野草を食べる会

日時：4月29日（金；昭和の日）10:00～15:00 頃。

場所：奥の谷。

(3) 里山クラフト

日時：11月23日（日）10:00～15:00 頃。

場所：奥の谷。

(4) どんどこもちつき

日時：1月15日（日）10:00～15:00 頃。

場所：奥の谷。

3. 自然観察・調査研究・提言活動

(1) 自然観察

①植物観察会

下記の日程で、原則として奥の谷を中心として、富田林市内の山野で行うが、他の地域で行うこともある。時間は原則として9:00～13:00 頃。

日程：4月10日（日）、5月15日（日）、6月4日（土）、9月24日（土）、10月9日（日）。

②昆虫ウォッチング

子どもを中心に、ネットによる自由採集、バナナによるベイトトラップ、ライトトラップ、夜間ルート観察などを行う。

日時：7月16日（土）15:00～21:00 頃。

場所：奥の谷。

③野鳥観察会

日時：2月19日（日）9:00～13:00 頃。

場所：錦織公園

④水の生き物観察会

「水の生き物池」で水生生物を採集・観察する。

日時：5月29日（日）10:00～13:00 頃

場所：奥の谷。

(2) 自然環境保全活用調査 その15

富田林市が里山倶楽部に委託して行う調査に積極的に協力する。

(3) 冊子「富田林の自然」No. 15 の発行

「富田林の生き物、自然景観、保全活動などを写真で紹介」、「専門家による自然保護に関する解説」、「富田林の生物調査などの紹介」、「自然環境保全活用調査の抜粋」、「協議会参加団体の活動紹介」、「協議会の活動報告」などを内容とする冊子を3月に発行する。

(4) 生物多様性保全の取り組み

「富田林市みどりの基本計画」の改定に向けて、生物多様性保全の施策を位置づけるべく、これまで市が実施してきた調査なども活用し議論を進める。

里山保全活動などで発生する間伐材や竹材を木質バイオマスとしての活用を検討する。また、今後の自然保護活動の担い手の養成を視野に、生物多様性保全を中心とした講座の開催、地域の自然にかかわる団体などとの連携などについて検討する。

〔2〕 石川自然ゾーン計画・運営協議会

大阪府が設置している当協議会に1名の委員を送り、石川の自然環境のあり方について議論する。

〔3〕 行政への要望

「要求とまちづくり富田林実行委員会」に加入し、市内の各種市民団体と協力して自然環境保全に関する要望活動を行なう。

Ⅲ. NICE（日本国際ワークキャンプセンター）との共催事業

〔1〕 国際ワークキャンプ大阪太子・富田林 2016

富田林の自然を守る市民運動協議会、大阪自然環境保全協会の協力のもと、NICE と共催で取り組む。今年度は9月1日(木)～9月15日(木)の予定。

〔2〕 NICE週末キャンプ（プレキャンプ、秋・春合宿を含む）

月1回の週末キャンプを下記の日程で取り組む。

4月23日～24日、5月21日～22日、6月4日～5日、7月23日～24日、10月8日～9日、11月5日～6日、12月10日～11日、1月14日～15日、2月11日～12日、3月4日～5日。

Ⅳ. 果樹園・水田・畑などの栽培・管理

〔1〕 果樹の栽培

南原栗園、果樹の丘、ミカン園の草刈り、施肥などの管理を行う。南原については昨年度発足した自然農グループ(ナンバルガンバル)の協力のもと実施する。

〔2〕 稲作および野菜の栽培

稲作については田植え（6月11日）、稲刈り（10月15日）、稲こぎ（11月5日）は協議会の行事とする。畑についてはシニア自然カレッジ里山班と協力して実施する。収穫物は各種行事で使用する。

V. 地域との協働

引き続き水利組合、NICE、初芝富田林校と協働で溜池の土手・水路の脇などの草刈りを実施する（5月22日）。

Ⅵ. 助成金事業

昨年に引き続き、「富田林里山の会」に協力して「森林・山村多面的機能発揮対策交付金（さともしり；林野庁）事業」を実施する。

VII. 外部団体からの依頼・相談・協力など

〔1〕 公益社団法人大阪自然環境保全協会

保全協会の提携団体として登録し協力して活動する。「自然環境市民大学」14期の講座（「地域の保全活動」、「企画・運営」）および「インストラクター養成講座」（「里山を歩こう」）を受け入れる。

〔2〕 NPO 法人大阪シニア自然カレッジ

「竹の除伐・竹林整備」、「人工林の間伐など」、「七草摘みと七草粥」の講座を受け入れる。また、当カレッジの「里山グループ」と協働する。

〔3〕 富田林市市民公益活動支援センター

当支援センターに登録し、市内のNPOなどとの連携を図る。

〔4〕 その他

そのほか各種の依頼・相談は可能なかぎり受け入れる。

VIII. 自然環境調査

- (1) 富田林市の「自然環境活用調査」を協議会に協力して実施する。
- (2) 環境省「モニタリングサイト1000里地調査」（日本自然保護協会が実施）の植物およびチョウの調査を引き続き実施する。
- (3) 奥の谷の植物、昆虫、水生生物、その他の動植物の生息状況調査を実施する。
- (4) 都市公園自然調査研究会（大阪自然環境保全協）が実施する、錦織公園の調査研究に協力する。

IX. 施設・設備の整備

必要に応じて「みかん小屋」とその周辺設備などの改修など施設の整備を行なう。

X. 会議

世話人会を原則として月1回（毎月第一火曜の午後7時～9時）開催する。世話会には世話人でなくとも会員であればだれでも出席し意見を述べるができるものとする。

年一回、原則として6月に総会を開催する。

第5号議案 2016年度 予算案

1.一般会計

収入の部

項 目	予算額	前年度決算額	備 考
繰越金	35,107	25,418	
会費	90,000	89,000	
行事参加費	3,000	0	協議会の行事を除く行事
雑収入	30,000	32,902	利子、カンパを含む
合計	158,107	147,320	

支出の部

項 目	予算額	前年度決算額	備 考
行事費	20,000	16,757	
通信郵送費	10,000	9,266	
消耗品費	10,000	6,290	
ワークキャンプ費	60,000	60,000	
協賛金及び寄付	1,000	0	
予備費	57,107	20,000	
合計	158,107	112,313	

第 6 号議案 2016 年度役員案

代 表 田淵武夫

会 計 上角敦彦

会計監事 市川悦久

世 話 人 伊佐知子、石垣和美、市原二郎、奥村 勉、笠原英俊、金子芳正、
岸本重男、五箇 哲、瀬戸照行、塚原知行、三嶋富士夫

富田林の自然を守る会会則

(名称)

第1条 当会は「富田林の自然を守る会」と称する。

(目的)

第2条 当会は次のことを目的とする。

①身近な自然に親しみ、自然を愛する心をやしなう。

②富田林の自然を守り、住みよいまちづくりをすすめる。

第3条 当会は前条の目的を達成するために次の活動を行う。

①自然観察会や調査活動を行う。

②講演会などを開き、自然保護について学習する。

③富田林市内の里山保全の活動を行う。

④機関誌「富田林の自然を守る会だより」を発行する。

⑤その他目的達成に必要な活動を行う。

(構成)

第4条 当会は第2条および第3条に賛同する個人および団体で構成する。

(財政)

第5条 当会の財政は、会費、行事参加費、寄付金および助成金等をもって充てる。

第6条 個人会員の会費は年間1口1,000円、団体会員の会費は年間1口2,000円とする。

第7条 助成金等の財源を得て取り組む事業については、特別会計を置く。

第8条 当会の会計年度は4月から翌年の3月までとする。

(役員)

第9条 当会に次の役員を置く。

代 表 1名

会 計 1名

会計監事 1名

世話人 若干名

上記役員の外に顧問を置くことができる。

第10条 役員の任期は1年とし、役員は総会で決定する。

(会議)

第11条 定期総会を年1回開催し、事業計画、予算、役員その他会の運営に必要な事項を審議する。総会は必要に応じ臨時に開催することができる。

第12条 世話人会は原則として毎月1回開催し、具体的な活動計画などについて審議する。

(事務局)

第13条 当会は事務局を代表宅に置く。

(残余財産の処置)

第14条 当会が解散（合併又は破産による解散を除く。）したときに残存する財産は、特定非営利活動促進法11条3項に掲げるもののうち総会において議決したものに譲渡する。

附則

①会の役員は次の会員とする。

代 表 田淵武夫

会 計 上角敦彦

会計監事 市川悦久

世話人 伊佐知子、石垣和美、市原 二郎、奥村 勉、笠原英俊、金子芳正、岸本重男、
瀬戸照行、三嶋富士、塚原知行

②この規約は2008年6月13日から適用する。

③2009年6月12日一部改正。

④2012年6月1日一部改正（第14条）。